

## 1 独立アドボカシー研究会の概要

### 研究会の歩みと概要

子ども情報研究センターは、子どもの権利に関する研究活動を行っています。会員から研究テーマを募り、研究テーマごとに「研究プロジェクト」を組織して研究を行う体制をとっています。現在は「独立アドボカシー研究プロジェクト」の下に二つの活動を行っています。

独立アドボカシー研究会は、2011年11月5日にイギリスの著名な子どもアドボカシー研究者ジェーン・ダリンプルさん、実践者ヒラリー・ホーランさんをお招きして、「地域子どもアドボカイト構築プログラム〈基礎ステップアップ講座〉：子どもの声が大人に届くために私たちにできること——イギリスの子どもアドボカシーから学ぶ」を開催したことをきっかけとして始まりました。この講座が素晴らしかったので、講座の内容を広く市民や関係者に知っていただくとともに、日本において子どもアドボカシーを発展させるためにわかりやすく紹介することや事例・演習を開発することを目的に本づくりを企画しました。そのため、2012年5月に「独立子どもアドボカシー研究プロジェクト」を立ち上げました。それから現在まで、会員のアドボカイト・市民・研究者により月1回研究会を開催しています。今日までの主な活動は以下の通りです。

### 2011年11月

ジェーン・ダリンプル、ヒラリー・ホーラン招聘講座「イギリスの子どもアドボカシーから学ぶ」開催

### 2012年5月

『子どもアドボカシー実践講座』（堀正嗣・子ども情報研究センター編著、解放出版社刊）出版

### 2013年4月～2016年3月

「福祉施設入所児童への外部アドボカシー導入研究：ICAS提供モデルの構築」  
（日本学術振興会科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究〔平成25～27年度〕課題番号25590151 研究代表者：堀正嗣）研究協力

## 2016年4月～2017年3月

「地域子どもアドボケイト養成講座」（キリン子育て応援事業助成）実施

## 2017年1月～2018年12月

「障害児施設市民訪問アドボカシー事業——障害のある子どもたちの尊厳を守るために」（ソーシャル・ジャスティス基金助成）実施中

## 2017年7月～2019年6月

「児童養護施設への市民訪問アドボカシーモデルの開発」（三菱財団助成）実施中

## 2017年4月～2020年3月

「障害児者入所施設における訪問アドボカシーシステム創出のためのアクションリサーチ」（科研費基盤研究(B) [平成29～31年度]、研究代表者：堀正嗣）  
研究協力「児童福祉施設へのアウトリーチ型権利擁護システムの開発」（科研費基盤研究(C) [平成29～31年度]、研究代表者：栄留里美）研究協力

## 2017年4月

「独立アドボカシー研究プロジェクト」独立アドボカシー研究会に名称変更

## 2017年9月

福祉型障害児施設1施設でのアドボカシー試行実践開始・児童養護施設1施設でのアドボカシー試行実践開始

## 2018年2月

障害者施設1施設での事前訪問開始（堀正嗣）